

第 49 回日本バイオフィードバック学会学術総会 演題募集のお知らせ

今回の大会 BF2022 では、新型コロナウイルスの蔓延によりこれまでの生活様式に大きな変化がもたらされ、心身共に閉塞的な環境下に晒されている今こそ、「コロナ禍でも元気になれるバイオフィードバック」を大会メインテーマとし、幅広い領域における研究者にお集まり頂くことといたしました。一般演題発表に加え、特別講演、招待講演、各分野の講習会、シンポジウム、企業展示、特別展示などを予定しており、異分野の技術習得や異分野間のディスカッションの機会をご用意しております。

このうち、特別講演と招待講演では、with コロナ時代のストレスマネジメントや認知症予防、ロボットセラピーの欧州展開の状況等に関して、第一線で活躍されている 4 名の先生にお話をして頂けることとなり、知的好奇心を満たす充実した構成に仕上がった次第です。他にも、会場前には、リハビリテーションやスポーツ分野への応用を目指し、先端技術とバイオフィードバックを融合させた新しいデバイスを動態展示する特別展示ブースを設けさせていただきます。HMD を頭部に装着し、仮想空間 (VR) 内でバレースパイクのレシーブ姿勢を鍛錬する VR バレーをはじめ、半側空間無視を呈する脳卒中患者において 3 次元無視領域を同定可能な VR 評価システムや MR (Mixed Reality) を駆使した無視改善治療システムなど、最先端リハビリ機器もご覧頂けるよう鋭意準備を進めております。新型コロナウイルス感染拡大第 7 波の動向予測が気になる現状ではございますが、BF2022 主催側としては万全の感染予防対策を講じますゆえ、上記の特別展示ブースも含め、“来て”、“見て”、“触って”、“体験”して頂ければ幸いです。なお、特別展示ブースについては、「VR・ろぼフェスタ」として、どなたでも無料でご参加いただける企画とさせていただきました。お子様から大人まで、お楽しみ頂ける内容になっておりますので、ご家族やご友人とお誘いあわせて参加頂ければ幸いです。

以上、本大会 BF2022 は、工学系が主催することもあり、先端機器の体験機会などバイオフィードバックの新たな可能性を感じて頂ける仕掛けを随所にちりばめておりますゆえ、【BF2022 に参加することでコロナ禍でも本当に元気になれるのか?!】という問いに関しまして、皆様ご自身で体感しにお越し頂ければ有難く存じます。是非とも奮ってご参加頂けますよう、よろしく願い申し上げます。

会議名：第 49 回日本バイオフィードバック学会学術総会

開催日：2022 年 6 月 18 日（土）・19 日（日）

会場：早稲田大学（オンラインとのハイブリッド）

大会長：岩田 浩康（早稲田大学 理工学術院）

ウェブサイト：<https://www.waseda.jp/assoc-bf2022/>

お問い合わせ：office-bf2022@list.waseda.jp

対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式で開催させて頂く予定です。

変更がある場合には、以下のウェブサイトにて速やかに掲示させて頂きます。

<https://www.waseda.jp/assoc-bf2022/index.html>

第 49 回日本バイオフィードバック学会学術総会

大会長 岩田 浩康（早稲田大学理工学術院）

office-bf2022@list.waseda.jp